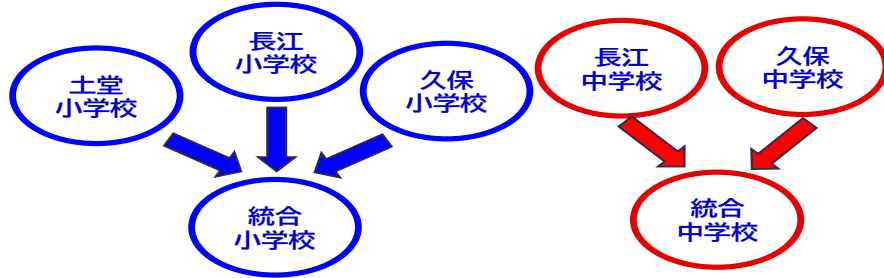


## 旧市内中心部の5校の統廃合



## 統廃合の理由は複数学級の維持 小学校・中学校新築計画

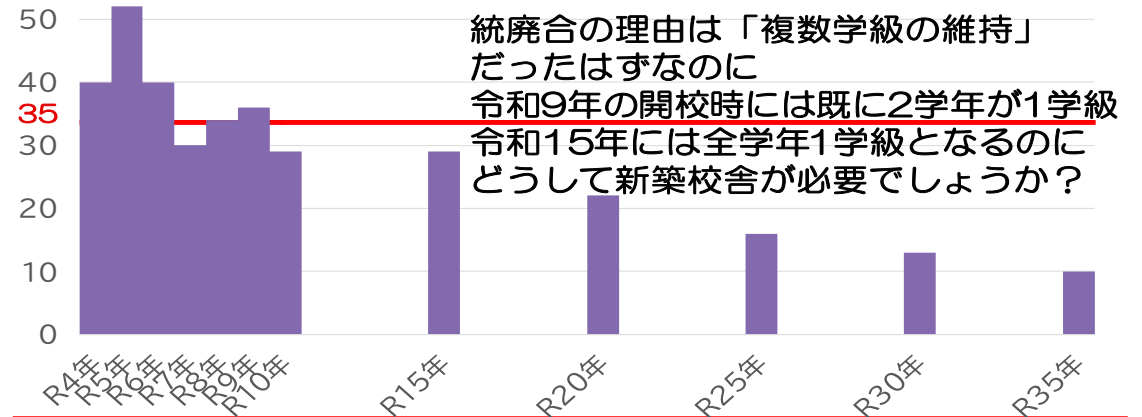
	小学校新築	中学校新築	新築合計
延床面積	5,280㎡	4,800㎡	
総事業費	33.1億円	31.5億円	64.6億円
補助金等	7.8億円	8.0億円	
市負担額	25.3億円	23.5億円	48.8億円

## 久保小学校・久保中学校を使えば

	久保小改修	久保中改修	改修合計
延床面積	2,950㎡	4,104㎡	
総事業費	14.5億円	12.8億円	27.3億円
補助金等	5.5億円	4.9億円	
市負担額	9.0億円	7.9億円	16.9億円

## 統合する3小学校合計の新入生数の実績と将来推計

2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2033	2038	2043	2048	2053
R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R15年	R20年	R25年	R30年	R35年
40	52	40	30	34	36	29	29	22	16	13	10



小学校・中学校を新築すると、  
既存の久保小学校・久保中学校を改修して活用することに比べて

- ◆ 総事業費で 64.6 億円 - 27.3 億円 = 37.3 億円
- ◆ 補助金等を除いた尾道市の負担額として 31.9 億円  
わたしたちの税金・借金が余分にかかります。

久保、長江、土堂小学校と久保、長江中学校の統廃合による小学校と中学校の新築は、少子化が急速に進行し、かつ、教育が多様化する中、校舎利用の将来見通しからすれば極めて不経済であり、既存校舎の活用をまじめに比較検討しない事業は極めて不合理で不健全です。

**わたしたちは、住民として監査を請求します。**

2024 年5月 尾道の未来を考える会

監査請求書及びその証拠は <https://onomichi-mirai.com> に掲載していま